



今回のテーマは、「血液検査データの読み方」です。
月に2回の血液検査、皆さんは自分の結果を確認していますか？

○血液検査の結果とは・・・

透析患者さんの体調や生活の質を維持するのに欠かせないのが、血液検査です。血液検査の結果は、透析はうまくいっているのか、合併症の心配はないかなどを知ることができます。自己管理に役立つ検査の読み方を覚えてみませんか？

☆血液検査の項目の一部 ※数値は当院での透析患者さんの目標値で、一般成人の基準値と異なります。

①透析がうまくいっているかわかる検査

- ・ 尿素窒素(BUN) 70~90mg/dL
- ・ クレアチニン(Cr) 男性 ~15mg/dL
女性 ~13mg/dL
- ・ B₂-ミクログロブリン ~25mg/L* など



検査値からわかること

尿素窒素やクレアチニンは、体の中の老廃物で、透析がうまくいっているかを判断することができます。BUNはたんぱく質を多く含む食事を摂りすぎると、高くなる場合があります。逆に低栄養の場合は、下がる場合があります。

②水分・塩分やカリウムの管理状況がわかる検査

- ・ ナトリウム(Na) 134~145mEq/L
- ・ カリウム(K) 3.5~5.5mEq/L
- ・ (体重、血圧、心胸比) など

ナトリウムは塩分のことであり、塩分を8g摂取すると、体重が1kg増えることとなります。塩分摂取量は、1日6g程度に抑えましょう。

カリウムは高くなると生命の危険性がありますので、カリウムの高い食物には注意が必要です。

③貧血や栄養がとれているかわかる検査

- ・ ヘモグロビン(Hb) 10.0~12.0g/dL**
- ・ アルブミン(Alb) 3.6~g/dL
- ・ フェリチン 100~300ng/mL**など

ヘモグロビンやフェリチンは貧血の判断に役立ちます。透析患者さんは貧血になりやすいので、貧血の場合は、食事により血を作る原料となる鉄分やタンパク質を適正に摂ることが大切です。

また、アルブミンが低い場合は低栄養の可能性もあります。

③骨の状態がわかる検査

- ・ 副甲状腺ホルモン(i-PTH) 60 ~240pg/mL
- ・ 補正カルシウム(Ca)※ 8.4~10.0mg/dL***
- ・ リン(P) 3.5~6.0mg/dL***など

これらの検査値の異常が続くと、骨がもろくなりやすく、また、動脈硬化がすすむ危険性があります。そのため、日ごろからのリンの管理が重要です。

※アルブミンが4.0g/dL未満の場合、補正Ca濃度を目安とします。

目標値の参考文献

無印:改訂3版 患者指導に役立つ透析患者の検査値ハンドブック,株式会社メディカ出版,斉藤 明,2010

・ :維持血液透析ガイドライン;血液透析処方,透析会誌 2013;46(7):587-632

** :2015年度版 慢性腎臓病患者における腎性貧血治療ガイドライン,透析会誌 2016;49(2):89-158

*** :慢性腎臓病に伴う骨・ミネラル代謝異常の診療ガイドライン,透析会誌 2012;45(4):301-356

☆血液検査はまず、カリウムとリンを見ましょう!

・カリウムとリンの数値は、食事に大きく影響され、命の危険につながります。

検査結果が配布されたら皆さんは、まずカリウムとリンをチェックしましょう。

・よく、「来週は血液検査だから食事を気を付けな」という声を耳にしますが、検査日だけ気を付ければよいというわけではありません。検査日だからこそ、通常通りの食生活をし、結果を今後に生かすことが大切です。

検査項目は他にもありますので、わからない項目はスタッフに聞いて下さい!

検査値の読み方をマスターして自己管理に役立てましょう!